

# MRI検査 Q&A

## Q. CT検査とMRI検査の違いについて

CT検査はX線を使い、MRIは磁場と電波を使って身体の中の画像を撮影します。MRIは、放射線による被ばくの心配はいりません。診断目的によって使い分けられています。

## Q. どうして検査前に多くの確認をするのですか？

MRI検査室には、強力な磁場が発生しています。金属類を持ち込んだ場合、金属が勢いよく装置に向かって飛んでいく場合があり、ケガや装置の故障につながり大変危険です。安全に安心して検査を受けていただくために多くの確認をさせていただいておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## Q. ペースメーカーを装着していますが検査できますか？

ペースメーカーを装着した方は、原則MRI検査が禁忌です。一部、MRI対応のペースメーカーもありますので担当医にご相談ください。

## Q. 体内金属類(インプラント)がありますが検査できますか？

体内金属類(インプラント)がある方は、MRI検査ができない場合があります。最近では、MRI対応のインプラントが多く製造されており安全性が確保されているものが増えていますが、検査前に担当する診療放射線技師にご相談ください。

## Q. 頭の検査なのに着替える必要がありますか？

衣類についている金属類やポケットの中にある金属類に気付かずに検査室に入室し、画像に影響を及ぼしたり、持ち込んだ所持品の故障、装置の故障につながったりすることが想定されます。また、衣類によって検査中、発熱することがあり火傷の危険性も考えられます。より安全に検査を受けていただくために検査部位に関わらず、検査着への更衣のご協力をよろしくお願いいたします。

## Q. コンタクトレンズは外さないといけませんか？

カラーコンタクトレンズの場合は、外していただきます。通常のコンタクトレンズは、装着したまま検査を受けていただけます。

## Q. 検査中に音がうるさいのはどうしてですか？

撮影をする際に、磁場と電波を発生させるMRI装置から出る音と振動です。電車の高架下(100dB程度)と同等の音がすると言われております。検査中は、耳栓を装着していただきます。

## Q. MRI検査は時間が長くなるのはどうしてでしょうか？

MRIは、あらゆる方向から断面像を撮像することが可能です。また、同一方向で数種類の画像を撮影するため、検査時間がかかってしまいます。

## Q. MRI検査で造影剤をしますが、副作用はないのでしょうか？

MRIの造影剤は、腫瘍の描出に非常に有用な手法です。しかし、重度心不全、喘息、薬物性アレルギー等がある場合、ごく稀にですが副作用が発生する場合があります。軽い症状はくしゃみ、吐き気、かゆみ等、重い症状は、呼吸困難や意識障害等です。当院では、このような副作用に対して万全の体制を整えておりますのでご安心ください。